



松本病院

地域医療連携室だより

Matsumoto National Hospital



松本病院
副看護部長
岡田 裕子

私は看護師体験の中でたくさんのことを患者さんから学ばせて頂きました。患者さんの気持ちに寄り添うとは、その難しさを何度も感じ、家族を含んだ支援の必要性、1人、1人違う価値観を持った個人として誠意を持って接することの大切さ等です。これらの体験、学びは貴重な財産となっています。そして私はいつも看護する人達が生き生きと輝き、やりがいを持ち看護を行うことで、患者さんに良い看護を実践できると考えてきました。看護師個々の「やる気」がチームに影響を与えることが大きく、そのことが職場風土に繋がり、看護の質の向上に繋がっていくと思っています。そのために個人個人が自律し、組織の一員として成長していくことがとても重要であると考えています。

松本病院は今、変革の時期です。これを改革のチャンスとしてとらえ、看護目標である「患者本位の看護を実践する」ために、これからも、看護師が生き生きとやりがいを持って働ける職場であり続けるように努力して参ります。

今後ともご支援、ご協力よろしくお願いたします。

今年の4月に松本病院副看護部長として着任しました岡田といいます。よろしくお願いたします。

少し自己紹介をさせていただきます。私の出身は新潟県です。看護師としてのスタートは東京で、ここ松本の地には20~30代の若かりし頃、何度か訪れていました。上高地、西穂高への登山、また冬の乗鞍へのスキー、温泉等で、私にとっては、青春時代の思い出がたくさん詰まった好きな場所です。今回、松本に着任することになり、冬の寒さに耐えられるか少々不安ですが、また懐かしの場所に行ける日

を楽しみにしております。今は毎朝見る、近くの山々から、北アルプスを眺めるのが日課となり、その雄大さに感激し、自然豊かな環境に満足しております。

着任後、最初の大きな催しは看護の日のイベント「一日街の保健室」でした。これは看護部中心の病院企画で、塩尻のGAZAをお借りしての催しでしたが、参加して頂きました皆様とふれあう中で、これからも地域に根ざした病院としての活動を推進して行かなければならないことを実感いたしました。

松本病院の理念

- 患者様の立場や権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに、患者様中心の医療を行います。
- EBMに基づいた医療を行うことにより、人の生命に関わる専門職として、質の高い医療を責任をもって提供します。
- 和とは連携である。職場の和のみならず、専門技術を総合的に連携させ、チーム医療や地域の医療連携を大切にします。
- チャレンジ精神を持ち、常に前進します。

開業医の先生紹介



みやばやしこどもクリニック
宮林 麻里 先生

私は昭和63年3月に福島県立医科大学を卒業しましたが、縁あって卒業後すぐに松本に来ることになり、研修医時代を貴院（当時は国立松本病院）でお世話になりました。当時の院長は牧内正夫先生で、新人の私を温かく迎えて下さいました。他科の先生方や看護師の皆さんにも大変お世話になったことは今でも忘れられません。点滴や採血などの手技に自信が持てるようになったのも、貴院の看護師の方々には優しさや厳しさをもって教えていただいたおかげと感謝しています。

平成4年1月から信州大学小児科へ入局、同年4月からの4年間小児科大学院で好中球機能に関する研究をして学位を取得しました。卒業後は中信松本病院、相澤病院、中信松本病院で勤務した後、平成17年9月に開業しました。

当院は松本市の島立地区にあります。開院するにあたっては、子どもがより良く育つために医療と

いう立場でお手伝いをする、いつかみれば親子の頼れる相棒のような存在になりたいという思いがありました。

現代では子どもがテレビやゲーム、パソコンに接する時間が増えて人と交流する機会が減り、情緒の発達や対人関係を築いていく能力が発達しにくい社会になってきています。こうした問題にも関心があったので、設計の時点で待合室にはあえてテレビを置かず、その代わりに大きな本棚を作りました。今、その本棚には600冊以上の絵本や大人も読めるちょっとした本が並べてあります。幸い現在までテレビ・ビデオが見られないというクレームはなく、待合室で親子や兄弟が肩を寄せて1つの絵本を読んでいる姿に、私自身も日々癒されながら診療しています。

診察室の1つはカウンセリングルームとして使えるようになっており、必要に応じて育児相談や心理面接などもできるようになって

います。

医師である以上、体の病気を治すことが本来の仕事ですが、子育てに迷い悩んでいる親御さん達の相談に乗ることで、孤独な子育てをしている人が少しでも救われて、その子も元気に育つことができればと願っています。

外来を訪れるお母さんお父さん達と、医師としてだけではなく、1人の人間として、また親として子どもの健康のために一緒に考えていくことができれば幸いです。

それから、いくつになっても子どもと対等に話ができるおばちゃん、おばあちゃんであり続けたいというとてもない野望も持っています。大人だって、昔は子どもだったのでから。



みやばやしこどもクリニック
〒390-0852
長野県松本市島立1748-2
TEL：0263-40-0208
FAX：0263-40-0207



もの忘れ外来のご案内

もの忘れには、認知症として治療が必要なもの、経過を見る必要のある軽度認知障害（MCI）、正常なもの忘れがあります。神経心理学的検査、画像診断（MRI、SPECT）によりどの分類に属するもの忘れかを診断し、方針をたてることが可能です。もの忘れが苦になる方はご相談下さい。



リレー形式

最近の診療トピックス(2)

川崎病～ガンマグロブリン不応例にたいする 新しい治療とBCG接種部位の発赤

川崎病は最初の報告から40年が過ぎましたが、いまだに原因不明です。ガンマグロブリン大量投与（IVIG）を行っても冠動脈瘤を残す症例が存在し、川崎病治療の大きな問題点です。これまでIVIG不応例に対する治療としてステロイド治療や血漿交換が行われましたが、最近Infliximab（レミケード[®]）の投与が効果的であったという報告が散見されるようになりました。Infliximabは抗ヒトTNF- α モノクローナル抗体で、クローン病や関節リウマチの治療に承認されています。川崎病ではTNF- α をふくむ多くのサイトカインが活性化しています（cytokine storm）。当院でもIVIG不応の重症例に対してInfliximabを投与したところ副作用なく投与でき、速やかに解熱しました。川崎病の多い日本でもまだ16例くらいの報告しかなく、新たに注目されている治療です。今後症例を蓄積して後遺症を残すお子さんをよりゼロに近づけていきたいと考えています。

冠動脈瘤は一度できてしまうと治すことはできません。後遺症ゼロをめざすうえでは、いかに瘤をつくる前に血管炎を鎮めるかがポイントであり、早期診断が重要ですが、残念ながら回復期に手指の落屑ではじめて川崎病を疑い、病院を受診され後遺症に気づかれる症例がしばしばあります。

診断基準の主要症状には含まれませんが、川崎病に特異性の高い症状としてBCG接種跡の発赤が参考条項に挙げられています。

写真は今年の4月に、ご開業されている内科の先生から発熱とBCG接種跡の発赤がありご紹介いただきました患者さんです。入院後に川崎病の診断基準を満たしましたが、早期からガンマグロブリン投与を行うことができ、おかげさまで後遺症なく退院されました。高熱で受診されるお子さんをご覧になりましたら、ぜひ左上腕のBCG跡をご確認いただき、疑わしい場合はご紹介いただければ幸いです。



リレー形式のこのコーナーですが、内科系の話題が続きましたので次回は外科の小池先生にお願いいたします。

小児科医長 岩崎 康

CT・MRIの検査予約がインターネットでおこなえるようになります!

この度、当院ではオンラインによる検査予約システムをスタートすることになりました。現在、電話・FAXでお受けしております検査予約ですが、このシステムにより今までお受けできなかった土曜日・日曜日や、時間外もご予約が可能となります。

インターネット環境さえあれば、初期費用や使用料も必要なくご利用いただくことができます。



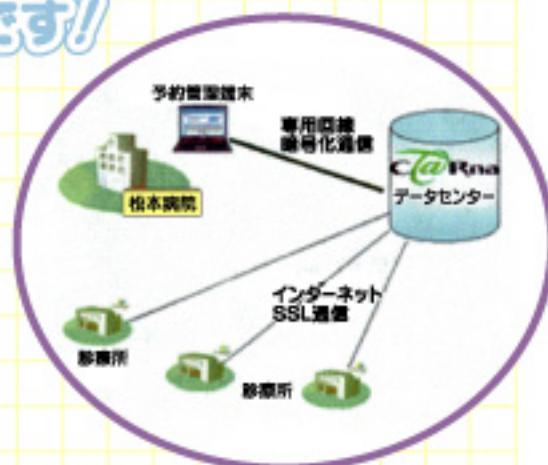
予約は簡単です。
ログインしたら表示される画面から予約希望の検査・部位・日時を選択します。

検査希望日の予約をクリックすると表示される画面に患者さまの情報を入力して完了です。

電話の検査問い合わせが不要です。
検査日の確認・変更も簡単です。

セキュリティについても安心です!

当院からの予約サーバーへのアクセスは暗号化され専用回線を使用して行なわれております。また、インターネットからのご予約となります医院さまは、オンライン決済等で使用されるhttpsという暗号化通信でセキュリティを確保いたしております。



今まで通りの電話・FAXのご予約も引き続きお受けいたします。
今後、近隣の診療所の先生方へオンラインサービスのご説明とご参加の呼びかけを地域医療連携室と共に実施してまいりますのでよろしくお願いいたします。

CT撮影装置が更新されます!!

この度、マルチスライスCT(MDCT)を導入することとなりました。

短時間・広範囲撮影

はやい!

既存の装置では困難でした短い停止までの広範囲・高速撮影が可能となります。また、より薄いスライス厚での撮影も可能となります。

患者被曝

やさしい!

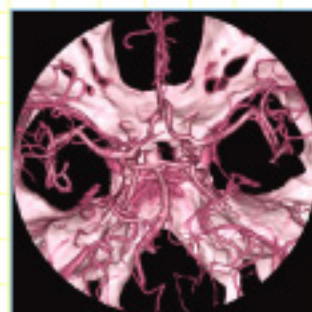
患者被曝の面では、低線量での撮影が可能となるため、被曝を心配される患者さまに対しても安心して検査を受けていただけます。



3D関連

きれいな!

3Dソフトによる3D画像の作成等も可能となっています。これによりまして、血管系の3D画像や、骨関係の3D画像もきれいなものが提供できるようになります。また、これまで提供できませんでした冠状断面や、矢状断面の画像も提供でき、胸腹部のスクリーニングには大きな力を発揮すると思われます。



新導入されます装置により、診断能の向上やインフォームドコンセントへの対応など、今まで以上に地域の先生方にはご満足いただける画像等をご提供できることと考えております。今後もより良い医療を提供できますよう、努力を続けてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



3D処理した画像例

患者さまの紹介方法

FAXによる予約

地域医療連携室(FAX 0263-86-2816)に送信して下さい。
15分以内にお返事を致します。

お電話による予約

地域医療連携室(TEL 0263-86-2812)までお電話を下さい。
患者さまのお名前・生年月日・受診希望日をお知らせ下さい。
日時をお伝え致します。

ご予約なしの場合

午前8:30～午前11:30までにお越し下さい。
但し、産婦人科・耳鼻科・眼科は外来診療表のとおりです。
紹介患者さまは優先致します。

紹介状・保険証等は、
受診当日 新患窓口
までお持ち下さい。
当日は、室員が診療科
にご案内致します。



当院では、専用の診療情報提供書をご用意しております。
ご希望される場合は、地域医療連携室までお気軽にご用命ください。

地域医療機関の先生方のご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療連携室 ☎0263-86-2812 征矢まで連絡をお願いします。

小児科勉強会のお知らせ

日時 8月16日(木)
19:00～
場所 会議室

地域の皆様方のご参加を
お待ちしております。

小児科

松本の歳時記

- 8/4 松本ほんぼん
- 8/7 七夕祭り、ほうとうを
食べる(月遅れ七夕)
- 8/10 薄川の花火
(筑摩神社例祭)
- 8月上旬 青山さま、ほんぼん、
盆踊り